

施設カルテ

基準日 令和4年3月31日

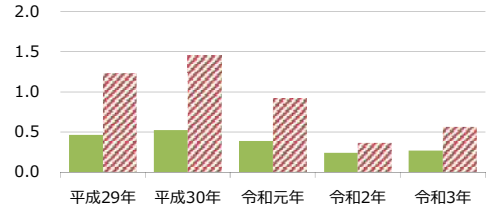
施設名	須玉農村総合交流ターミナル（須玉ふれあい館）	施設番号	13
施設大分類	市民文化系施設	施設中分類	文化施設
		施設小分類	

財務情報

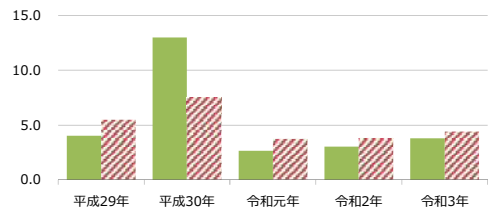
(千円)

年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
歳入 対前年度増減率(%)		-	12.8	△ 25.2	△ 38.0	11.3
総額		1,752	1,976	1,479	917	1,021
使用料等		1,056	1,061	930	773	904
使用許可・貸付		0	0	0	0	0
補助金等		0	0	0	0	0
その他収入		696	915	549	144	117

(千円/m) 【歳入の推移】



【歳出の推移】



比較単位： 総額 / 施設面積 【当該施設】 緑色 【分類平均】 斜線

【解体処分コスト】

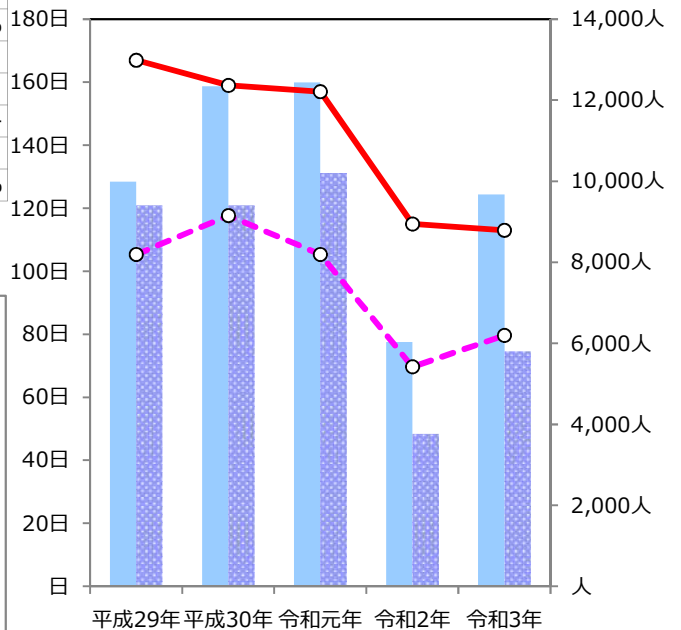
解体処分単価(円/m ²)	延床面積	解体処分金額
¥33,800	3790.m ²	¥128,102,000

施設サービス提供状況

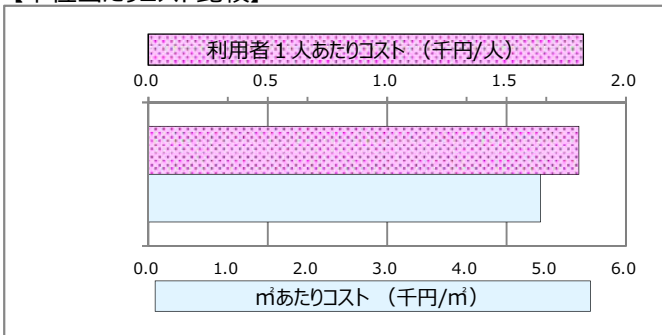
【施設サービス提供状況】

項目	単位	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
年間開館日数	日	308	307	306	308	308
延利用者数実績	実績値 人	9,993	12,346	12,440	6,032	9,671
	対前年度比		23.5%	0.8%	-51.5%	60.3%
年間利用可能コマ数	コマ	0	0	0	0	0
年間利用コマ数実績	実績値 コマ	0	0	0	0	0
	対前年度比		-	-	-	-
年間利用日数	実績値 日	167	159	157	115	113
	対前年度比		-4.8%	-1.3%	-26.8%	-1.7%

延利用者数実績 (青い棒) 延利用者数実績平均 (点線) 年間利用日数実績 (赤い線) 年間利用日数実績平均 (点線)



【単位当たりコスト比較】



施設カルテ

基準日 令和4年3月31日

施設名	須玉農村総合交流ターミナル（須玉ふれあい館）	施設番号	13
施設大分類	市民文化系施設	施設中分類	文化施設
		施設小分類	

費用対効果評価

【費用対効果評価】

財務情報と利用情報からみる定量的な評価



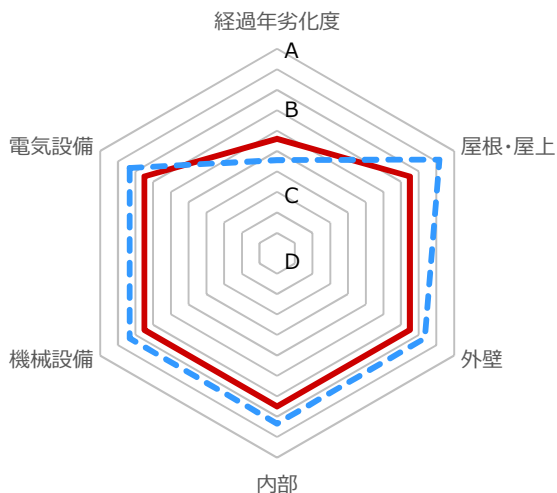
区分	対応	費用対効果評価の考え方
A	継続	コストも利用度も良好
B 1	コスト改善	コストは高いが利用度も高い
B 2	利用度改善	コストは低いが利用度も低い
C	見直し	コストも利用度も不良

- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の移動平均値です。
- ・コスト/m² = 平成29年～令和3年 の 歳出-歳入 / 施設面積
- ・利用度 = 平成29年～令和3年 の 年間利用日数実績 / 年間開館日数

凡例： ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象（分類）の他施設

施設性能評価

【施設性能評価】



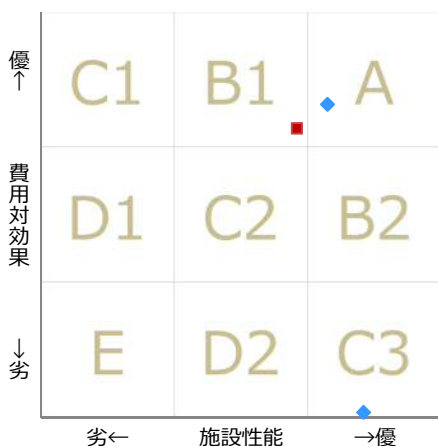
評価項目	評価基準
経過年劣化度	経過年劣化度 = (T-t) / T (経過年劣化度の最小値は0) T: 構造別の耐用年数 t: 建築後の経過年数
屋根・屋上	建物の屋根・屋上について、劣化状況調査結果に基づき4段階評価
外壁	建物の外壁面（東西南北面）について、劣化状況調査結果に基づき4段階評価
内部	建物内の仕上について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価
機械設備	建物内の給水・給湯・排水・ガス配管について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価
電気設備	建物内の盤類・配線・配管について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価

— 当該施設 - - - 比較対象(分類)の他施設

一次評価

【一次評価】

費用対効果と施設性能のクロス評価結果からみる方向性の位置付け



区分	方向性	一次評価の考え方	
		費用対効果	施設性能
A	長寿命化（維持継続）	優	優
B 1	施設性能向上	優	向上
B 2	費用対効果向上	向上	優
C 1	更新、大規模改修	優	改善
C 2	費用対効果と施設性能の改善	改善	改善
C 3	用途変更、運営管理方針改善	改善	優
D 1	建替え等および費用対効果改善	向上	改善
D 2	用途変更等および施設性能改善	改善	向上
E	廃止、除却	改善	改善

凡例： ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象（分類）の他施設

施設カルテ

基準日 令和4年3月31日

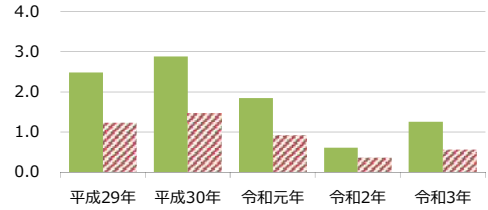
施設名	高根ふれあい交流ホール（八ヶ岳やまびこホール）	施設番号	14
施設大分類	市民文化系施設	施設中分類	文化施設
		施設小分類	

財務情報

(千円)

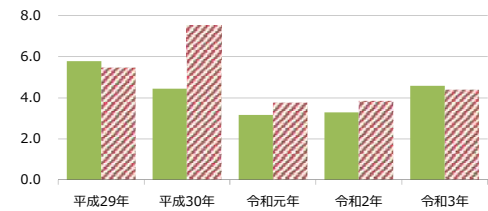
年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
歳入 対前年度増減率(%)	-	16.1	△ 36.2	△ 66.8	105.4
総額	4,269	4,957	3,164	1,049	2,155
使用料等	1,172	1,164	1,065	841	1,294
使用許可・貸付	0	0	0	0	0
補助金等	0	0	0	0	0
その他収入	3,097	3,793	2,099	208	861

(千円/m) 【歳入の推移】



年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
歳出 対前年度増減率(%)	-	△ 23.3	△ 28.3	3.7	38.8
総額	9,950	7,627	5,465	5,668	7,867
光熱水費	2,938	2,615	1,664	938	1,565
維持保全費	2,626	300	905	319	1,870
指定管理料等	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	333	659	313	358	379
人件費	4,053	4,053	2,583	4,053	4,053

【歳出の推移】



比較単位： 総額 / 施設面積 【当該施設】 緑色 【分類平均】 斜線

【解体処分コスト】

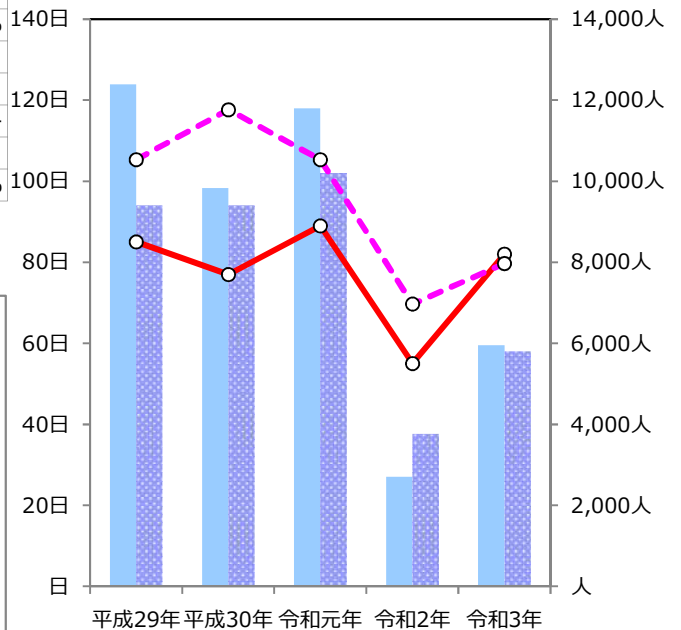
解体処分単価(円/m ²)	延床面積	解体処分金額
¥33,800	1719.m ²	¥58,102,200

施設サービス提供状況

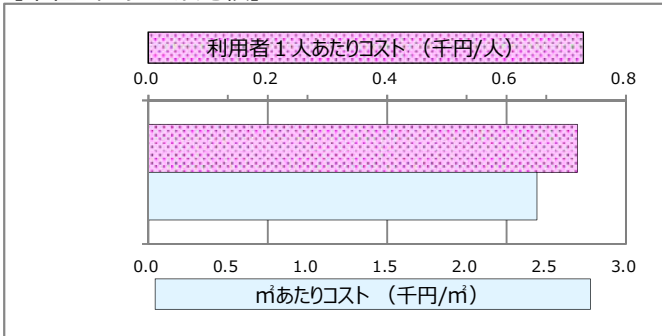
【施設サービス提供状況】

項目	単位	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
年間開館日数	日	308	307	306	308	308
延利用者数実績	実績値 人	12,393	9,832	11,805	2,704	5,957
	対前年度比	-	-20.7%	20.1%	-77.1%	120.3%
年間利用可能コマ数	コマ	0	0	0	0	0
年間利用コマ数実績	実績値 コマ	0	0	0	0	0
	対前年度比	-	-	-	-	-
年間利用日数実績	実績値 日	85	77	89	55	82
	対前年度比	-	-9.4%	15.6%	-38.2%	49.1%

延利用者数実績 (青い棒) 延利用者数実績平均 (点線) 年間利用日数実績 (赤い線) 年間利用日数実績平均 (点線)



【単位当たりコスト比較】



施設カルテ

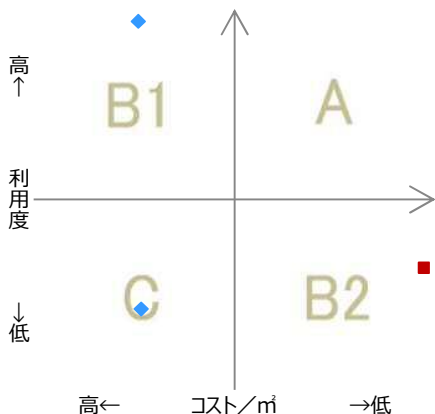
基準日 令和4年3月31日

施設名	高根ふれあい交流ホール（八ヶ岳やまびこホール）	施設番号	14
施設大分類	市民文化系施設	施設中分類	文化施設
		施設小分類	

費用対効果評価

【費用対効果評価】

財務情報と利用情報からみる定量的な評価



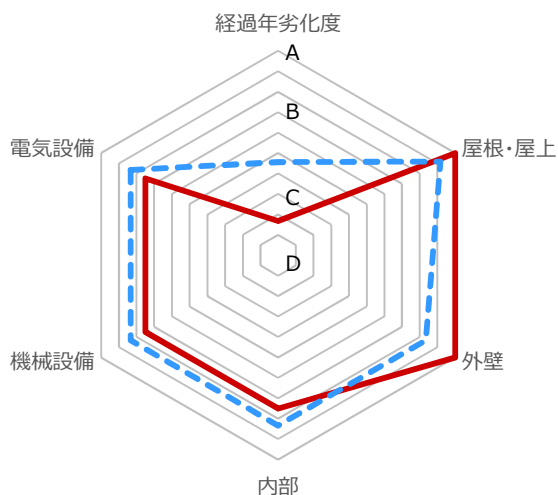
区分	対応	費用対効果評価の考え方
A	継続	コストも利用度も良好
B 1	コスト改善	コストは高いが利用度も高い
B 2	利用度改善	コストは低いが利用度も低い
C	見直し	コストも利用度も不良

- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の移動平均値です。
- ・コスト/m² = 平成29年～令和3年 の 歳出-歳入 / 施設面積
- ・利用度 = 平成29年～令和3年 の 年間利用日数実績 / 年間開館日数

凡例： ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象（分類）の他施設

施設性能評価

【施設性能評価】



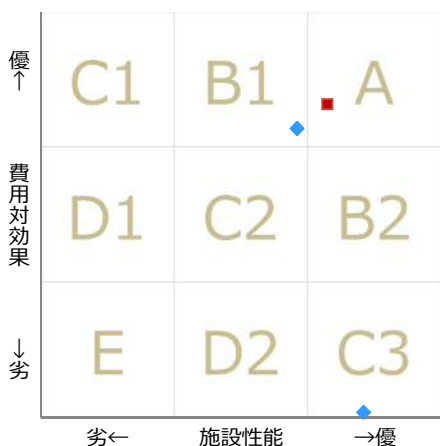
評価項目	評価基準
経過年劣化度	経過年劣化度 = (T-t) / T (経過年劣化度の最小値は0) T: 構造別の耐用年数 t: 建築後の経過年数
屋根・屋上	建物の屋根・屋上について、劣化状況調査結果に基づき4段階評価
外壁	建物の外壁面（東西南北面）について、劣化状況調査結果に基づき4段階評価
内部	建物内の仕上について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価
機械設備	建物内の給水・給湯・排水・ガス配管について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価
電気設備	建物内の盤類・配線・配管について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価

— 当該施設 - - - 比較対象(分類)の他施設

一次評価

【一次評価】

費用対効果と施設性能のクロス評価結果からみる方向性の位置付け



区分	方向性	一次評価の考え方	
		費用対効果	施設性能
A	長寿命化（維持継続）	優	優
B 1	施設性能向上	優	向上
B 2	費用対効果向上	向上	優
C 1	更新、大規模改修	優	改善
C 2	費用対効果と施設性能の改善	改善	改善
C 3	用途変更、運営管理方針改善	改善	優
D 1	建替え等および費用対効果改善	向上	改善
D 2	用途変更等および施設性能改善	改善	向上
E	廃止、除却	改善	改善

凡例： ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象（分類）の他施設

施設カルテ

基準日 令和4年3月31日

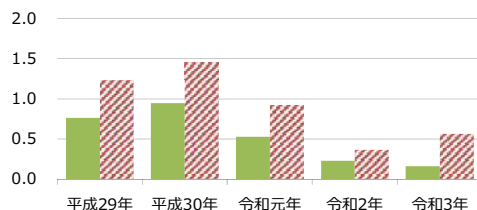
施設名	長坂コミュニティ・ステーション	施設番号	15
施設大分類	市民文化系施設	施設中分類	文化施設
		施設小分類	

財務情報

(千円)

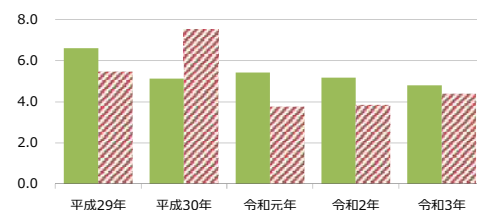
年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
歳入 対前年度増減率(%)	-	24.0	△ 44.2	△ 56.2	△ 31.9
総額	1,984	2,460	1,373	602	410
使用料等	900	940	1,069	530	341
使用許可・貸付	0	0	0	0	0
補助金等	0	0	0	0	0
その他収入	1,084	1,520	304	72	69

(千円/m) 【歳入の推移】



年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
歳出 対前年度増減率(%)	-	△ 22.5	5.7	△ 4.3	△ 7.2
総額	17,216	13,345	14,103	13,493	12,525
光熱水費	7,316	8,365	8,013	6,680	6,127
維持保全費	5,913	821	1,607	2,373	1,991
指定管理料等	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	887	1,059	946	903	870
人件費	3,100	3,100	3,537	3,537	3,537

【歳出の推移】



比較単位: 総額 / 施設面積 【当該施設】 (緑色) 【分類平均】 (斜線)

【解体処分コスト】

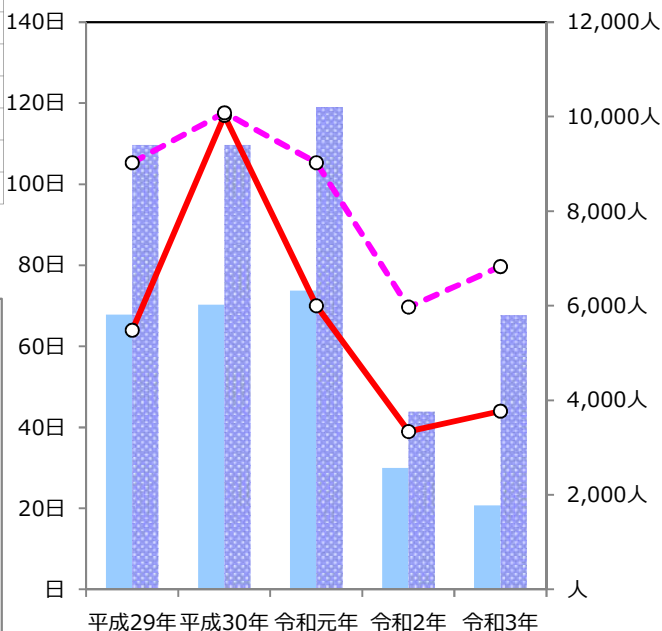
解体処分単価(円/m ²)	延床面積	解体処分金額
¥33,800	2604.99m ²	¥88,048,662

施設サービス提供状況

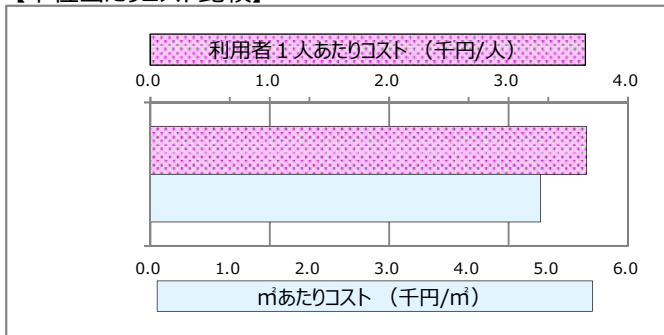
【施設サービス提供状況】

項目	単位	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
年間開館日数	日	308	307	306	308	308
延利用者数実績	実績値 人	5,817	6,023	6,322	2,568	1,783
	対前年度比		3.5%	5.0%	-59.4%	-30.6%
年間利用可能コマ数	コマ	0	0	0	0	0
年間利用コマ数実績	実績値 コマ	0	0	0	0	0
	対前年度比		-	-	-	-
年間利用日数実績	実績値 日	64	117	70	39	44
	対前年度比		82.8%	-40.2%	-44.3%	12.8%

■ 延利用者数実績 (青い棒) ■ 延利用者数実績平均 (点線) ● 年間利用日数実績 (赤い線) ○ 年間利用日数実績平均 (点線)



【単位当たりコスト比較】



施設カルテ

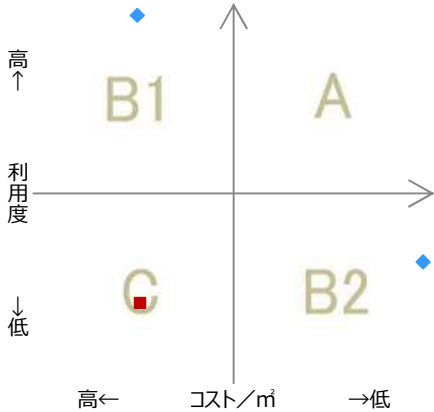
基準日 令和4年3月31日

施設名	長坂コミュニティ・ステーション	施設番号	15
施設大分類	市民文化系施設	施設中分類	文化施設
		施設小分類	

費用対効果評価

【費用対効果評価】

財務情報と利用情報からみる定量的な評価



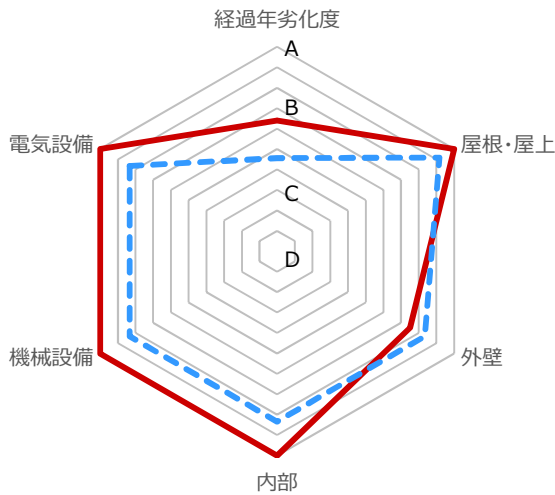
区分	対応	費用対効果評価の考え方
A	継続	コストも利用度も良好
B 1	コスト改善	コストは高いが利用度も高い
B 2	利用度改善	コストは低いが利用度も低い
C	見直し	コストも利用度も不良

- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の移動平均値です。
- ・コスト/m² = 平成29年～令和3年 の 歳出-歳入 / 施設面積
- ・利用度 = 平成29年～令和3年 の 年間利用日数実績 / 年間開館日数

凡例： ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象（分類）の他施設

施設性能評価

【施設性能評価】



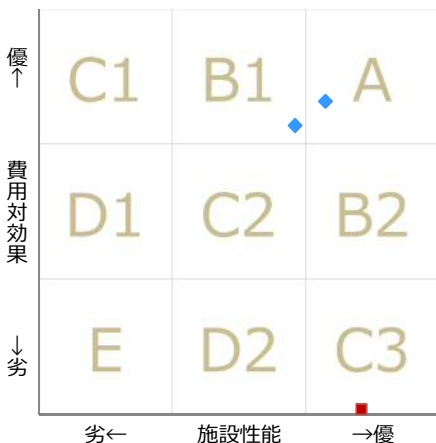
評価項目	評価基準
経過年劣化度	経過年劣化度 = (T-t) / T (経過年劣化度の最小値は0) T: 構造別の耐用年数 t: 建築後の経過年数
屋根・屋上	建物の屋根・屋上について、劣化状況調査結果に基づき4段階評価
外壁	建物の外壁面（東西南北面）について、劣化状況調査結果に基づき4段階評価
内部	建物内の仕上について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価
機械設備	建物内の給水・給湯・排水・ガス配管について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価
電気設備	建物内の盤類・配線・配管について、建物の概ね半分以上の床面積に渡って行った改修工事の実施年度を基準とし経過年数で4段階評価

— 当該施設 - - - 比較対象(分類)の他施設

一次評価

【一次評価】

費用対効果と施設性能のクロス評価結果からみる方向性の位置付け



区分	方向性	一次評価の考え方	
		費用対効果	施設性能
A	長寿命化（維持継続）	優	優
B 1	施設性能向上	優	向上
B 2	費用対効果向上	向上	優
C 1	更新、大規模改修	優	改善
C 2	費用対効果と施設性能の改善	改善	改善
C 3	用途変更、運営管理方針改善	改善	優
D 1	建替え等および費用対効果改善	向上	改善
D 2	用途変更等および施設性能改善	改善	向上
E	廃止、除却	改善	改善

凡例： ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象（分類）の他施設

